

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

大学の音楽を学ぶことをギリギリに決め、どの大学を受験するか悩んでいました。将来的にも幅が広がる総合大学である同志社女子大学のオープンキャンパスに参加しました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強、実技試験対策の進め方について。 ※音楽学科入試課題については、『2019年度音楽学科入試課題』で必ずご確認ください。

[1学期]

ソルフェージュ（コールユーズンゲン、楽典）は、ひたすら過去問を解くことで自分の弱点があり、そこを集中して勉強しました。実技は、課題曲が発表されてからおどりに取り組み始めました。

[夏休み]

本番は大きく緊張するタイプなので、ライブも場慣れするためにソルフェージュに出場する方にしました。コントロールで頂いた講評、アドバイスには、演奏方法や練習の仕方などが詳しく書かれていたりで、これからの練習に大きく役立ちました。

[2学期～入試直前]

学校行事が明けたり、追われているうちに推薦の月があった間に来ました。推薦までは、コールユーズンゲン、実技をひたすらやっていた。しかし、結果は落ちてしまい再度一般入試へチャレンジすることに決めました。それからは以前より、本番をイメージしようと思い練習の仕方を変えました。さらに一般教養も勉強してはいたけれど、この時期を有効的に使いました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

夏と冬に大学の講習を受けたり、オープンキャンパスの演奏会に行ったりで、気持ちを高めたり、リフレッシュしたりしました。受験までの期間が長いので気持ちを維持するのが大変でした。その中で、学校で友達と話したりするのがストレスの解消に役立ちました。また、学校行事も全力で取り組むことも良かったと思います。健康面はやっぱりマスクが必須だと思っています。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験期間中はただつらいだけでいい、自分がものすごく成長できることが確信できる期間でもあります。最後は自分だけを信じて演奏するしかない。後悔しないために今の期間を大切に組み立ててください。